事例No.	1393
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	山梨県甲州市

事例区分	一般行政

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

山梨県　甲州市（森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施）

- 甲州市では、森林所有者の世代交代や地区外在住等により、手入れが不足している人工林が増加し、土砂災害の発生の危険性が懸念されている。このような状況を踏まえ、森林環境譲与税を活用して、森林経営管理制度に基づく取組を実施し、森林所有者の意向調査に基づく間伐を行い森林整備を推進する方針。
- 令和2年度においては、災害の危険性の高い地域等をモデル的に意向調査を実施した。そのうち1.56haの経営管理権集積計画を策定し、1.53haの間伐を行い、森林の有する公益的機能の発揮につなげた。
- 令和３年度においては、新たな集積計画を策定するため、意向調査を進めて行くこととしている。

□ 事業内容

1　森林所有者への意向調査の実施

- 市内の民有人工林の29ha(49名分)の森林所有者に対し、モデル的に今後の経営管理について意向を調査し、そのうち、1.56ha（３筆）について、経営管理権集積計画を作成した。

【事　業　費】1,645千円（全額譲与税）

【実　　績】意向調査面積29ha

経営管理権集積計画面積1.56ha

2　森林整備(間伐)

- 集積計画を作成した1.56haのうち、1.53haの間伐を実施した。

【事　業　費】378千円（全額譲与税）

【実　　績】 間伐1.53ha



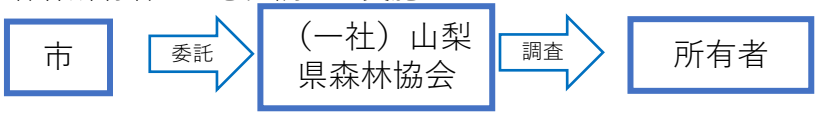
（事業2：間伐前の状況）



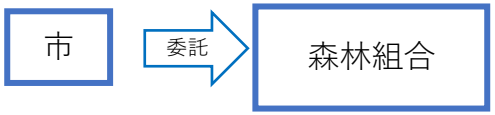
（事業2：間伐後の状況）

□ 事業スキーム

1　森林所有者への意向調査の実施



2　**森林整備（間伐）**



□ 工夫・留意した点

甲州市においては果樹生産を行う農家が森林所有者である場合が多く、農繁期を避けて事業説明を行う必要があった。このため、農閑期等において、短期集中的に制度説明および意向調査を行い、調査の効率化を図った。

◇ 基礎データ

①令和２年度譲与額	13,596千円
②私有林人工林面積（※１）	1,115ha
③林野率（※２）	80%
④人口（※３）	31,671人
⑤林業就業者数（※３）	71人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より